

# 獄 中 記

<福山辰夫>

## 第五回

皇紀 2653 年【平成 5 年・西暦 1993 年】

5月1日(土)

5月の連休に入る。午前中は、舎房にてテレビVTR視聴有り。

テレビ番組からの録画もので『名古屋嫁入り物語』(制作：東海テレビ・泉放送。1989年1月27日、フジテレビ系列で放送。出演：植木等、山田昌、かとうかずこ、小西博之、富士真奈美、長江健次ほか)。

生粋の名古屋人の夫婦を、植木等と山田昌が演じ、名古屋をはじめ中京地区では娘の結婚に父母が世話を焼き、「娘3人いれば家が傾く」と言われる程の費用を使う。

その独特な風習をコミカルに描いた作品。また、5月1日付で、私物所持品の追加分として「電気カミソリ」(乾電池式=単3乾電池2本使用)と「ハンカチ」(ガーゼ生地で、緑・紫・青・黄の4色があり、工場と舎房で計2枚迄の所持が可)の購入・所持が出来る様になる。

5月2日(日)

連休2日目。午前中はテレビVTR視聴有り。

『将軍』(配給：東宝。製作国：米国。1980年公開。出演：リチャード・チェンバレン、三船敏郎、島田陽子、フランキー堺、金子信雄、目黒祐樹、高松英郎ほか。監督：ジェリー・ロンドン)。

1600年頃の日本を舞台に、太閤秀吉が亡き後の諸大名の動向と、漂着した1人のイギリス航海士が旗本になる過程を描いた作品。公開当時、劇中で島田陽子がセミヌードになり話題性は十分であったが、日本人というものを全く理解していない米国人が製作した、駄作。

視聴後も、同房の者からは不評の嵐であった。

5月3日(月) 憲法記念日

登用憲法の施行を記念する日として「国民の祝日」となっているが、GHQの手による我が国の「国

体弱体化」(戦後政策下)に於いて成立したという事実を忘れてはならない。

1日も早い改憲・自主憲法の制定を臣民は望む。況してや、「民族自決権」を持たない国家は真の独立国とはなりえない。午前中はテレビVTR視聴有り。

『釣りバカ日誌 5』(配給：松竹。1992年公開。出演：西田敏行、石田えり、中本賢、戸川純、笹野高史、谷啓、加藤武、前田武彦、乙羽信子、三國連太郎ほか。監督：栗山富夫)。

浜崎家に待望の赤ちゃん・鯉太郎が誕生し、伝助の母のたき(乙羽信子)が九州から上京。

今作は、鯉太郎が鈴木建設本社ビルで行方不明になったり、ハマちゃんが左遷されて京都丹後半島の「スッポン養殖」の担当者に転勤したりと相変わらずのドタバタ劇。

しかし、昨日のテレビVTR視聴の『将軍』が余りにも酷かったので、こういった娯楽映画の方が鑑賞していても、皆で楽しめるので良いのではないか…。

### 5月4日(火) 国民の日

今年から新たに祝日となるも、3日(憲法記念日)と5日(こどもの日)が祝日であり、飛び石連休となるのをただ単に祝日としただけの、元来の祝祭日的な意味合いは全くない。

それでも、小生ら懲役にとっては1日でも「休業日」が増えるという事は有難いこと。

今日も、午前中はテレビVTR視聴有り。

『レッド・オクトーバーを追え!』(製作：米国。配給：パラマウント映画。1990年公開。出演：シヨーン・コネリー、アレック・ポールドウィン、スコット・グレンほか。監督：ジョン・マクティアナン)。  
物語は、米ソ冷戦時代、ソ連のムルマンスク港よりタイフーン級原子力潜水艦「レッド・オクトーバー」が出航。この新造艦の艦長として処女航海に出るのがマルコ・ラミウス(シヨーン・コネリー)大佐であるが、彼は世界の軍事関係者からも尊敬と畏怖の念をもって仰ぎ見られるにもかかわらず、ソ連の体制に不満を持っていることから、この最新鋭弾道ミサイル潜水艦を手土産に米国へと亡命を画策する。海底で行われる米ソの攻防が見ものである。

### 5月5日(水) こどもの日

「黄金週間」も最終日。午前中はテレビVTR視聴有り。

『猿の惑星』(製作：米国。配給：20世紀フォックス。1968年公開。出演：チャールトン・ヘストン、ロディ・マクドウォール、キム・ハンターほか。監督：フランクリン・J・シャフナー)。

4人の宇宙飛行士を乗せて「ケネディ宇宙センター」から発射した1隻の宇宙飛行船が半年の宇宙飛行を経て地球帰還を目指していたが、ある理論に従って船内時間が1972年7月4日で、地球

時間が2673年3月23日であることを確認した後、睡眠薬を注射して船内で冬眠状態に入った。しかし、何らかのトラブルである惑星へと不時着する。だが、そこは猿が支配をする社会であり、人間は智能も低くて言葉も文化も持たない下等動物にしか過ぎない存在であった。

小生も既に何度もテレビ放映で見た映画だが、最後のシーンで船長のテイラー（チャールトン・ヘストン）が禁断の地へ行って見たものが、胸から下が土に埋まった「自由の女神像」であると解る。そこで初めて、愚かなる人類が自らの手で文明を滅ぼしたことを知り泣き崩れるシーンは圧巻である。公開当時は、米ソ冷戦の真っ只中であり、核軍拡の時代でもあった。

つまりこの映画が訴えたかったのは、我々人間というものは如何に愚かな存在であるかという風刺ではないか…。昼餉時に、祝日菜として「柏餅」の給与有り。

明日からまた、ワープロ作業である。心新たに気を引き締めて生活をせねばならない。

#### 5月13日(木)

特別購入品の交付が有り、待望の「書道道具」1式が手元に届く。

還房後、点呼・夕餉を終えてから『圖南書道』10段位で無期囚のSさんに、筆おろしと運筆等の手解きを受ける。だが、実際に筆を手執るのは中学生以来であり腕が震えて上手く書けない。ただ、何とか残る刑期内で師範位まで取得出来ればと心中に誓う。

#### 5月14日(金)

4月分の賞与金教示有り。「6等工+1割増」=2,001円也。漸く、賞与金が月額2,000円を超える。

#### 5月15日(土)

免業日にて、午前中は10時から11時30分迄、慰問演芸『辺見マリ歌謡ショー』が講堂にて催される。元来が男臭い圀圀(れいご)の中(うち)故、舞台に登場した辺見マリの香水臭が鼻を衝く。往年のヒット曲である『経験』からショーが始まり、『ダニエル・モナムール』、元夫である西郷輝彦の曲などを数曲歌う。

#### 5月20日(木)

午後から『書道教室』に出席する。今月の毛筆漢字部・初段以下の半紙課題である「炎暑」(九

成宮醴泉名・唐 欧陽詢) の自書臨書作品を鈴木登郁先生に添削指導して頂く。

尚、先生から初めてにしては上手いとの評価をもらい、多少ながらも自信となる。

### 5月25日(火)

通信教育課程『圖南書道』の作品提出日に付き、毛筆漢字部・初段以下規定課題である「炎暑(えんしよ)」の臨書作品1点を工場担当経由で教育課へと提出する。

今回は初出品の為、我が腕前が毛筆漢字部で?級からのスタートとなるか楽しみである。

### 5月28日(金)

夕方、工場定期私本配布日に付き、下附を願い出していた『三国志(5)』(吉川英治著・講談社)と『劇画 小説吉田学校 11』(原作:戸川猪佐武、さいとうたかを・読売新聞社)、『劇画 小説吉田学校 12』(同)の3冊と、購入の週刊誌1冊が手元に届く。

### 6月2日(水)

東北南部(仙台)梅雨入りする。関東は一昨昨日に梅雨入りになったが、蒸し蒸しする川越の梅雨と違って陸奥(みちのく)の梅雨は肌寒く、特に『結核性胸膜炎』を患って肺に疾患がある身にとって、この時期は風邪が要注意である。

### 6月8日(火)

5月分の賞与金教示有り。「6等工+2割増」=1,926円也。

「黄金週間」で連休が重なり、再び月額2,000円を割ってしまう。

### 6月9日(水)

『皇太子結婚の儀』にて「休業日」となる。

皇太子徳仁殿下と小和田雅子様の結婚の儀が執り行われ、地道に愛を育んできた殿下にとっては最高の伴侶を迎えることになる。美智子皇后・紀子妃に次ぐ民間からの皇室への輿入れであるが、将来は皇后陛下になられるお方。1日も早い後継者の御誕生を切に願うは、日本人として当たり前の感情ではないか。特別にテレビVTR視聴が有り。

『シコふんじゃった』(製作:大映。配給:東宝。1992年公開。出演:本木雅弘、清水美砂、柄本明、竹中直人、田口浩正ほか。監督:周防正行)。都立大学卒業の為の単位を引き換えに、廃部寸前の弱小

相撲部に入った山本秋平(本木雅弘)を中心に、同大相撲部員たちの奮闘を描いたコメディ作品。

### 6月10日(木)

工場定期発信日に付き、妻宛に便りを出す(便箋7枚)。

午後から『書道教室』が有り、出席する。今月の毛筆漢字部・初段以下規定課題の自書臨書作品を鈴木登郁先生に添削指導を受ける。

### 6月12日(土)

免業日。今日は『宮城県民防災の日』であり、1978年(昭和53年)6月12日、午後5時14分に起きた、マグニチュード7.4(震度5)の地震が仙台市を襲い、死者16名、重軽傷者10,119名、住家の全半壊が4,385戸、一部損壊が86,010戸という多大な被害が生じた「宮城県沖地震」に因み、防災意識を高めると共に、広く県民に周知する為にと設けた日である。

同房者で無期囚のTさん(千葉県市川市出身)は、現在17年を宮城刑務所で務めているので、この地震で被災したという。本人の話によれば、グラグラときたらもう立っていられなくなり、布団を頭に被って地震が収まるのを待ってから起き上がり獄窓を望むと、目の前にあった刑務所の煉瓦塀が全部倒壊しており、塀の向こうにある娑婆(しゃば)が丸見えだった…と。

もうあんな経験はしたくないと、言っていたが間違いなく本心であろう。

「天災は忘れた頃にやってくる」。ゆめゆめ圀圀の中では死にたくないものである。

### 6月13日(日)

今日は、午前9時30分から10時30分迄、『宮城刑務所物故者慰霊祭及び大祓式』が講堂にて催行され、出席をする。式事は「宮城県神道政治連盟青年部」の有志により、祝詞奏上～物故者慰霊祭～大祓式と行い、最後は神楽「浦安の舞」を雅楽に合わせて巫女さんが踊って終了となる。

和紙の形代(かたしろ)を頭の前から爪先迄擦り神官に渡すのだが、「流し雛」等の風習もこれと同じであって、心身の穢れを人形(ひとがた)に移して厄災の原因となる諸々の罪と過ちを祓い清めるのである。古来より大祓は年に2度行われ、6月の大祓を『夏越(なごし)の祓』と呼び、12月の大祓を『年越の大祓』とも呼ぶ。

### 6月14日(月)

今日付で、『夏季処遇』となる。

何処が変わるのかというと、工場衣として半袖上衣1点が貸与され、暑ければ上衣を脱いで丸首半袖シャツでの作業が可となる。（\*但し、溶接等の「危険作業」に従事する者はその内に非ず、よって各自指定された着衣で作業を行うこと）。

また、工場靴下も冬用の厚地ものを2足引き上げて、夏用のナイロン製（私費購入可）が2足貸与・交付される。尚、舎房衣でも半袖上衣1点と半ズボン1点が貸与され、同じく暑い場合は丸首半袖シャツ・半ズボンでも可となる（\*行事・宗教教誨・面会等で舎房を出房する際には、必ず長袖・半袖を問わず上衣を着用すること）。

### 6月20日（日） 父の日

午前中は10時から11時30分迄、慰問演芸『北原ミレイ歌謡ショー』が講堂にて催される。

今回は「大畑プロダクション」による恒例の慰問であり、茨城の抗争事件で身体（からだ）を掛けた松葉会系の人間に入ったもの。前座で、ものまね芸人の「若人あきら」が登場し、例の記憶喪失事件を自虐ネタにして語り、ものまね講座と続いて講堂内は大爆笑の渦となる。

トリでは、北原ミレイが登場しヒット曲である『石狩挽歌』で始まり、デビュー曲の『ざんげの値打ちもない』から『漁歌』、『釜山港へ帰れ』、『百万本のバラ』と矢継ぎ早に聴かせてくれる。況してや、舞台の隅には親分らしき方も居り、長い務めに耐えている当人にとっては1日も早く娑婆という戦場に復帰することが親分の為、組織の為と思っていることであろう。

### 6月21日（月）

昨日の慰問演芸後から体調が優れず、朝起きて無理を推して工場へ出役をするも、午前中に医務診察を願い出て受診する。結局は「風邪で熱発」との診断により、午後から入病となり病棟へ。

### 6月25日（金）

単なる風邪だったので、少し休んだら体調も戻り「休養解除」となって、午前中には13工場に出役となる。工場に戻ると、事前に揮毫しておいた書道作品を工場担当経由で教育課に提出する。還房後、工場区の定期私本配布日に付き、購入の週刊誌1冊と『三国志(6)』（吉川英治著・講談社）、『劇画 小説吉田学校 14』（原作：戸川猪佐武、さいとうたかを・読売新聞社）、『劇画 小説吉田学校 15』（同）の3冊が手元に届く。

## 7月1日 (木)

昼餉後、12時20分から1時20分迄、『書道教室』に出席する。毎月楽しみにしている講義ではあるが、先生の技法・筆遣いを必死に盗む機会にしないと出席している意味がない。兎に角、食欲に学ぶ事しか上達する道は皆無である。 \*7月は「刑務作業安全月間」。

## 7月9日 (金)

6月分の賞与金教示有り。6等工+3割増=1,968円也。先月は風邪で入病となった所為で、またまた月額2,000円に届かず。

## 7月14日 (水)

今月が「刑務作業安全月間」である事は、工場と舎房を結ぶ歩廊に看板がぶら下がっているの  
で知ってはいたものの、「薬物乱用防止月間」でもあるらしく、夜の6時30分から7時迄の30分  
間程、テレビVTR視聴として『覚醒剤』の啓蒙ビデオを見る。

小生も決して綺麗事は言えないが、若気の至りでとはいえその代償は大きい。

齢を重ねるにつれてあっちこっちと悪い部分が出てくるし、況してやC型肝炎になり体がボロボロで、薬物なんて『百害あって一利なし』。